

報道関係各位

2025年11月12日

株式会社アイデム

20回目を迎える小・中・高校向け写真コンテスト「はたらくすがた」

応募作品 8,199 点の中から受賞作品が決定

～大人の“働く姿”を被写テーマにすることで、子どもが働くことを考えるきっかけに～

総合人材情報サービスの株式会社アイデム（東京都新宿区 代表取締役社長：柊山 亮）は、今年で 20 回目を迎える「アイデム写真コンテスト『はたらくすがた』」において、応募作品の中から受賞作品を決定いたしました。今回の受賞作品は、11 月 27 日（木）から 12 月 10 日（水）まで、当社ビル併設のアイデムフォトギャラリー「シリウス」にて展示します（入場料無料）。

アイデム写真コンテスト『はたらくすがた』は、小学生・中学生・高校生から、身のまわりで働く大人の姿を被写体とした写真作品を募集するコンテストです。シャッターチャンスを狙って大人の“働く姿”と真剣に向き合うことで、子どもたちに働くことの素晴らしさや大切さを考えてもらうことを目的にしています。今年は全国から 8,199 点の作品が集まりました。

グランプリ作品

小学生の部		金子 陽香さん（神奈川県） 横浜市立東戸塚小学校 5 年 『つながる命』 私たちがいつも食べているお米は、脱穀したあと「わら」が残ります。その「わら」は牛の餌になります。夕暮れに高く積まれたわらの束。色んな命が繋がっているんだと感じました。 じいじ、ばあば、いつも命のお米をありがとう。
中学生の部		河津 みちさん（島根県） 島根大学教育学部附属義務教育学校 後期課程 3 年 『日本の宝』 日本や私たちの暮らしに欠かせない「漁師」という仕事を見学させていただき、普段は見えない裏側の大変さを知ることができました。この写真を通して、私と一緒に少しでも漁師の皆さんへの感謝の気持ちを持っていたいただけたら嬉しいです。
高校生の部		関口 夢乃さん（群馬県） 群馬県立高崎北高等学校 3 年 『ぬくもり』 アヒルの飼育員の方を撮影した。青い作業着と手袋からは、日々アヒルたちの世話をしている様子が伝わってきた。抱かれたアヒルは安心したように体をあずけ、その姿から飼育員の方の深い愛情が感じられた。その穏やかな光景を見て、人と動物の間に生まれる信頼関係は素敵だなと思った。

準グランプリ作品

小学生の部		鈴木 空河さん(京都府) 京都市立境谷小学校 2 年 『カッコいいかあちゃん』 トレーラーをうんてんしててカッコよかった。
中学生の部		田中 紗良さん(山梨県) 山梨大学教育学部附属中学校 1 年 『時を刻む祖父と時計』 いつも笑顔で優しくしゃべりかけてくれる祖父とはまたちがった一面をみることができました。時計を集中してなおすがたはともカッコよかったです。
高校生の部		祖田 茉夏さん(京都府) 同志社女子高等学校 2 年 『ここ重要です！』 先生はいつも一生懸命で、丁寧に教えてくださいます。先生曰く生物の呼吸の反応過程をしっかり理解することが重要です。

特別賞作品

富士フィルム特別賞		大田 結菜さん(埼玉県) 川口市立舟戸小学校 6 年 『空手を教える伯父』 空手は怖くて厳しいイメージだったけど、伯父が笑顔で指導していて、道場のみんなが楽しそうに空手をしていました。
朝日小学生新聞賞		境 湊太さん(千葉県) 船橋市立塚田南小学校 5 年 『楽しそうに船をこぐクマルさん』 ネパール人のクマルさんは、楽しそうに船をこいでいて、仕事大好きなんだなと思いました。

キヤノン特別賞		興梠 心花さん(宮崎県) 高千穂町立高千穂中学校 1 年 『がんばるポストマン』 暑い中、一生懸命に配達していて素敵だと思った。
高等学校文化連盟 全国写真専門部賞		小原 勇輝さん(岩手県) 岩手県立花巻農業高等学校 2 年 『雪とともに生きる』 本校写真部 12 名程で貸切バスにのってこの時期恒例の撮影会を岩手県和賀郡西和賀町の豪雪地帯に行ってきました。この日(2025 年 1 月 11 日)は運良く、冬晴れの日でした。西和賀町を部員と顧問の先生で歩いて、足湯や橋の上からなど、たくさん撮影してきました。そろそろ帰りの時間にさしかかったとき、上空で大きな声が聞こえてきました。見上げてみたら、屋上に 2 名のスノーバスターが、堆積された大きな雪をせっせと下ろしていました。その時、顧問の先生が、「花巻農業高校写真部です！撮影させてください！」と依頼し、即快諾、「いいよ！花巻からわざわざ来たのか～」などコミュニケーションをとりながら撮影していたら、地元のおじさんらが声をかけてくださり、下からも上からも和やかな雰囲気撮影できました。とっても温かい地元の皆さんとふれあうことができました。はじめてみる雪下ろしをファインダー越しで撮影することができたことは格別でした。「気をつけて！」といって 20 分くらいの撮影を終了し帰校しました。この写真から私は、「雪は敵ではない。雪とともに生きていくのだ！」という強いメッセージが隠されているようでした
アイテム Good Job 賞	 	酒井 匠翔さん(栃木県) さくら市立喜連川小学校 6 年 『命を乗せるタイヤ、一本一本丁寧に』 タイヤ屋さんで働く母です。一本一本丁寧にチェックして安全なタイヤを出荷できるようにしているそうです。タイヤは車の安全にかかわるので、細かいところまで点検しきれいにするそうです。みんなの安全を考えていると思うとすごいです。いつもありがと。 蛭田 昶さん(神奈川県) 日本大学藤沢中学校 1 年 『目を見て話す』 介護士である私のお母さんは、利用者さんと話す時は必ず目を見て話をしています。そのような心遣いが介護には大切なのかな、と思いました。

アイテム Good Job 賞



山本 佳凜さん(東京都)
品川区立戸越小学校 5年

『いいじのお寿司!』

3年前にばあばが亡くなり、一度はお店を諦めようとしていたじいじ。でも、お客さんやみんなから励まされて、今は元気に笑顔を取り戻して仕事をしています。英語が話せるので外国のお客さんもたくさん来てくれていて素敵だなと思います。これからも美味しいお寿司をたくさん作ってほしいなって思いながら撮影しました。

◆小学生の部 受賞者一覧(敬称略)

グ ラ ン プ リ	金子 陽香	神奈川県	横浜市立東戸塚小学校	5年
準 グ ラ ン プ リ	鈴木 空河	京都府	京都市立境谷小学校	2年
優 秀 賞	栗原 杏実	東京都	八王子市立いずみの森義務教育学校	1年
	山梨 結愛	東京都	世田谷区立経堂小学校	6年
佳 作	五十嵐 千春	東京都	江戸川区立東小岩小学校	5年
	石井 聖空	沖縄県	石垣市立石垣小学校	1年
	大野 真依	茨城県	つくば国際大学東風小学校	5年
	大庭 匡	福岡県	直方市立上頓野小学校	1年
	神戸 瑛麻	埼玉県	坂戸市立浅羽野小学校	5年
	沢目 史奈	東京都	星美学園小学校	1年
	長谷川 健人	滋賀県	湖南市立石部小学校	5年
	服部 紗和	岐阜県	中津川市立阿木小学校	4年
	柳瀬 依知果	滋賀県	野洲市立野洲小学校	1年
	山本 晴嗣	和歌山県	紀の川市立粉河小学校	2年

◆中学生の部 受賞者一覧(敬称略)

グ ラ ン プ リ	河津 みち	島根県	島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程	3年
準 グ ラ ン プ リ	田中 紗良	山梨県	山梨大学教育学部附属中学校	1年
優 秀 賞	伊藤 翔太	群馬県	渋川市立渋川中学校	2年
	佐藤 菜々子	島根県	島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程	1年
佳 作	天野 優衣奈	東京都	宝仙学園中学校	1年
	塩谷 由奈	東京都	宝仙学園中学校	3年
	清水 皓介	愛知県	愛知県立刈谷高等学校附属中学校	1年
	舘野 冬翔	栃木県	野木町立野木中学校	2年
	中磯 敏志	埼玉県	西武台新座中学校	2年
	長崎 舜	東京都	豊島区立池袋中学校	1年
	並河 昊	東京都	東村山市立東村山第二中学校	1年
	橋本 奏心	石川県	かほく市立河北台中学校	1年
	本田 康太郎	熊本県	熊本県立八代中学校	3年

	山田 凜華	静岡県	伊東市立南中学校	2 年
--	-------	-----	----------	-----

◆高校生の部 受賞者一覧(敬称略)

グ ラ ン プ リ	関口 夢乃	群馬県	群馬県立高崎北高等学校	3 年
準 グ ラ ン プ リ	祖田 茉夏	京都府	同志社女子高等学校	2 年
優 秀 賞	志水 華歩	熊本県	八代白百合学園高等学校	2 年
	鈴木 日向子	埼玉県	埼玉栄高等学校	3 年
佳 作	岩 嵯 朱里	熊本県	八代白百合学園高等学校	2 年
	遠藤 凜音	岩手県	岩手県立花巻北高等学校	2 年
	小 滝 理紗	千葉県	千葉県立長狭高等学校	3 年
	加藤 僚	愛知県	愛知県立鶴城丘高等学校	1 年
	小上馬 杏南	京都府	同志社女子高等学校	1 年
	下田 琴子	愛媛県	愛媛県立新居浜西高等学校	2 年
	瀧島 陽菜	東京都	洗足学園中学高等学校	2 年
	竹村 柚希	愛知県	愛知県立鶴城丘高等学校	1 年
	戸谷 百菜	福井県	福井県立丹生高等学校	1 年
	濱本 海里	和歌山県	和歌山県立神島高等学校	2 年

◆特別賞 一覧(敬称略)

富士フィルム特別賞	大田 結菜	埼玉県	川口市立舟戸小学校	6 年
朝日小学生新聞賞	境 湊太	千葉県	船橋市立塚田南小学校	5 年
キヤノン特別賞	興 梶 心花	宮崎県	高千穂町立高千穂中学校	1 年
高等学校文化連盟 全国写真専門部賞	小原 勇輝	岩手県	岩手県立花巻農業高等学校	2 年
アイデム Good Job 賞	酒井 匠翔	栃木県	さくら市立喜連川小学校	6 年
	蛭田 凪	神奈川県	日本大学藤沢中学校	1 年
	山本 佳凜	東京都	品川区立戸越小学校	5 年

◆団体奨励賞 一覧

小 学 校 の 部	茨城県	つくば国際大学東風小学校
中 学 校 の 部	栃木県	野木町立野木中学校
高 校 の 部	愛知県	愛知県立鶴城丘高等学校

◆学校応募賞 15 校

◆アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」について <https://www.aidem.co.jp/csr/photocontest/>

アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」は、身のまわりの大人の働く姿をテーマに、小学生・中学生・高校生を対象として 2005 年より開催しています。人材情報サービスを事業とするアイデムにとって、働くことの素晴らしさ、大切さを次の世代を担う子供たちに伝えていくことは、広く社会に向けた活動の重要な柱です。当コンテストを通じて「働く姿」に目を向けることが、より多くの子供たちにとって仕事について考えるきっかけとなることを願っています。

第20回はたらくすがた 概要

<テーマ> 身のまわりで働く大人の姿

<応募資格> 小学生・中学生・高校生

<募集期間> 2025年5月15日～9月17日

<賞> 小学生の部・中学生の部・高校生の部

・グランプリ	各部門から1点ずつ
・準グランプリ	各部門から1点ずつ
・優秀賞	各部門から2点ずつ
・佳作	各部門から10点ずつ
・富士フィルム特別賞	小学生部門から1点
・朝日小学生新聞賞	小学生部門から1点
・キャノン特別賞	中学生部門から1点
・高等学校文化連盟全国写真専門部賞	高校生部門から1点
・アイDEM Good Job 賞	全部門から3点
・団体奨励賞	各部門から1校ずつ
・学校応募賞	学校をあげて多数ご応募いただいた中から複数校

<選考委員> 榎並 悦子(写真家)／清水 哲朗(写真家)

五味 ヒロミ(絵本文章作家)／吉田 由紀(朝日学生新聞社 統合編集センター長)

<応募件数> 3部門合計:8,199点

入選作品展

<期間> 2025年11月27日(木)～12月10日(水)

<時間> 10:00～18:00 ※最終日は15:00まで、入場料無料

<場所> アイDEMフォトギャラリー「シリウス」(アイDEM本社ビル2階) <https://www.photo-sirius.net/>
※ 東京都新宿区新宿 1-4-10 / 東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」より徒歩2分

表彰式

2025年11月29日(土)

<株式会社アイDEMについて> <https://www.aidem.co.jp>

アイDEMは1970年の新聞折込求人紙に始まり、人に「はたらく」感動を、企業には「人材」という価値をつなぎ、地域が発展できる社会の実現を目指してきました。求人サイト「イーアイDEM」等の求人メディア、採用ホームページ構築サービス「Jobギア採促」、新卒・中途の人材紹介「アイDEMエージェント」、高度人材から特定技能までサポートする「アイDEMグローバル」といった時代の変化にも対応した採用支援だけでなく、労働雇用状況や社会の課題にも目を向けた調査分析、情報提供を行っています。これからもアイDEMは、人と企業をつなぎ人材サービスを展開していきます。

アイDEMフォトギャラリー「シリウス」 <https://www.photo-sirius.net/>